

最終更新日：2026年3月6日

Ver.1.0.0

『ガンダムカードゲーム』

WORLD CHAMPIONSHIPS 26-27

大会ルールについて

◆使用するデッキについて

- ・50枚ちょうどで構成された構築デッキが必要です。
- ・デッキを構築するときは、2色までのカードを組み合わせる事ができます。
- ・同一カードナンバーのカードは、4枚まで入れることができます。
- ※デッキは、ジャッジまたはスタッフがチェックを行うことがあります。
- ※ジャッジまたはスタッフからデッキチェックの要請があった場合、すみやかにデッキを提出してください。
- ・デッキのほかにもリソースカード10枚で構成したリソースデッキやトークンカード（EXベース、EXリソースを含む）、ダメージカウンターも用意してください。

※「WORLD CHAMPIONSHIPS 26-27 EXPO 予選 3on3」ではチームにおけるデッキ構築ルールがあります。詳細はこちら（https://www.gundam-gcg.com/jp/pdf/wcs26-27_3on3.pdf）をご確認ください。

◆使用可能なカードについて

- ・本ゲームではコピーしたカードなど、正規のガンダムカードゲームのカードでないもの、サインや名前など何かを書き足したカード、著しく損傷しているカードは使用できません。リソースカード、トークンカードを含め、偽造されたカード（コピーや手作りによる代用カードを含む）を使用することはできません。
- ・販売・頒布されてから7日間が経過していない新規のカードナンバーのカードは、使用できません。すでに7日以上前に発売・頒布しているカードと同一のカードナンバーのカードは、7日間が経過していても使用することができます。
- ・カードのオモテ面・ウラ面・側面に、同じデッキ内のカードと区別できる傷、汚れ、印、反りなどがある場合、ジャッジまたはスタッフの判断により使用できない場合があります。

ただし、スリーブを使用することで区別がなくなってしまう場合は、使用することができます。

◆スリーブについて

・デッキについて、**不透明なスリーブを着用することが必須です。**

・デッキのスリーブについて、すべて同じ不透明のスリーブにカードを同じ向きで 1 枚ずつ入れていなければいけません。1 枚のカードに対して 2 枚までスリーブを重ねて使用することが可能です。その場合はすべてのカードに対して、同じ枚数・重なり順で、かつ、二重のうちどちらか 1 つは不透明のスリーブを使用してください。

※デッキにおいて、透明スリーブのみの使用、少しでも裏が透けているスリーブの使用はペナルティの対象です。

・リソースデッキ、トークン（EX ベース、EX リソース含む）について

①不透明なスリーブを着用する

②透明なスリーブを着用する

③スリーブを着用しない

のいずれかから選択することが可能です。

・スリーブを着用する場合、2 枚まで重ねて着用することができます。

・リソースデッキ、トークン（EX ベース、EX リソース含む）に**不透明なスリーブを着用する場合、デッキ、リソースデッキ、トークンそれぞれ異なるスリーブを着用する必要があります。**

・トークンに不透明なスリーブを着用する場合、ユニットトークン、EX ベース、EX リソースですべて同じ不透明なスリーブを着用する必要があります。

・EX ベースのみ、プラスチック製のカードローダーを使用することができます。

他のトークンとスリーブの状態を揃えたうえで、その上からカードローダーを装着してください。

※カードローダーを使用する場合、カードローダーの中には EX ベースとそれに着用しているスリーブ以外のもの（他のカードやステッカー等）を入れることはできません。

・デッキ、リソースデッキ、トークン（EX ベース、EX リソース含む）**すべてにおいて、三重以上のスリーブの着用はペナルティの対象です。**

・不透明なスリーブについて、公式スリーブ、無地のスリーブ以外の使用も可能です。

※大会の公平性に影響が出る可能性があるもの、著作権を侵害しているものや公序良俗に反しているものなど、大会のルールやマナーから逸脱しているものは、ジャッジまたはスタッフの判断でペナルティの対象になる可

能性があります。

※大会によっては、大会主催者が指定するスリーブの使用が義務とされる場合もあります。

・特定のカードの見分けがつかう可能性があるスリーブや、カード内容が著しく確認できなくなるようなスリーブの使用は、ジャッジまたはスタッフの判断でペナルティの対象になる可能性があります。

・大会において、ジャッジまたはスタッフにスリーブが使用できないもの（著しく視認性が悪い、テキスト部分が隠れている等）と判断された場合、プレイヤーはより適したものに交換する必要があります。交換できない場合、ペナルティの対象になりますので、交換用のスリーブを持参することを推奨します。

◆配信について

大会によっては、フィーチャー卓で対戦の様子を公式 YouTube チャンネルにて配信します。該当のプレイヤーはスタッフの指示に従いフィーチャー卓へご移動ください。

※フィーチャー卓での対戦および配信にご協力いただけない場合、**失格**となり、各種記念品の獲得権利も失います。

◆対戦形式

・大会の種類によって、対戦形式が異なります。

①店舗予選（全国のエキスパートショップにて開催）

<予選>

スイスドロ-最大 4 回戦

制限時間 30 分 1 試合 1 本制

※スイスドロ-終了時点で 1 位のプレイヤーが「店舗エリア予選 出場権利」を獲得します。

※スイスドロ-終了時点で 1 位のプレイヤーが複数名いた場合、スイスドロ-における順位決定方法の優先順位④に従い、じゃんけんやダイスなど主催者が決定したランダムな方法で 1 位を決定します。

②店舗エリア予選（全国の一部のエキスパートショップにて開催）

<予選>

スイスドロ-最大 5 回戦

制限時間 30 分 1 試合 1 本制

※予選終了後、順位に応じて本選進出者を決定します。本選進出人数の目安は、32 名ごとに上位 8 名

です。本選進出者は8名ごとにブロックに分かれます。

※各ブロックで優勝したプレイヤーが「JAPAN FINALS 出場権利」を獲得します。

<本選>

トーナメント3回戦 シングルエリミネーション

制限時間 30分 1試合 1本制

※決勝戦のみ時間無制限

③EXPO 予選 (GCG EXPO 会場にて開催)

<予選>

スイスドロー形式 トリプルエリミネーション

※予選では、3試合敗北すると自動的にドロップ扱いとなり、以降の試合へはご参加いただけません。

制限時間 30分 1試合 1本制

<本選>

予選最終順位上位者が本選に進出します。本選で上位に入賞すると、「JAPAN FINALS 出場権利」、「JAPAN FINALS 招待出場権利」を獲得できます。

※大会によって本選進出者数と権利獲得者数が異なります。

トーナメント形式 シングルエリミネーション

制限時間 30分 1試合 1本制

※決勝戦のみ時間無制限

スイスドローにおける順位決定方法

以下の優先順位に基づいて順位を決定します。

優先順位①：得点（1試合につき勝利：1点、敗北：0点）

優先順位②：対戦相手の得点率（OMW%）

優先順位③：対戦相手が戦った相手の得点率（OOMW%）の平均

優先順位④：①～③が全ての同点の場合、主催者が決定したランダムな方法

※OMW%とは、大会中どれだけ強い相手と対戦してきたか、という指標です。同じ得点であれば、より強い対戦相手とより多く当たった方が上位となります。

OOMW%は、計算結果が0.33を下回った場合は0.33とします。

時間切れについて

・予選では、制限時間終了時点で効果を発揮しているカードがある場合、その効果の処理が終わった後で勝利条件が満たされてない場合は【両者敗北】となります。

・本選では、制限時間内でゲームが終了しなかった場合、現現在進行中のターンが先攻プレイヤーのものか、後攻プレイヤーのものかによって、以下の追加のターンが与えられます。

先攻プレイヤーのターン中に時間切れになった場合 進行中のターンを 0 ターンとして、追加 3 ターン

後攻プレイヤーのターン中に時間切れになった場合 進行中のターンを 0 ターンとして、追加 2 ターン

上記の追加のターンでもゲームが終了しなかった場合、以下の手順に従って勝敗判定が行われます。

1. シールドエリア（ベースとシールドの合計）の枚数が多い方が勝利（同数の場合は次へ）
2. デッキの残り枚数が多い方が勝利（同数の場合は次へ）
3. じゃんけん 1 回勝負などで勝ったほうが勝利

◆出場制限と権利の繰り下げについて

※大会当日時点で「JAPAN FINALS 出場権利」および「JAPAN FINALS 招待出場権利」を保持しているプレイヤー（権利保持者）について、一部の大会への出場制限があります。

※「店舗エリア予選 出場権利」は Season ごとに分かれています。

店舗予選：出場できます。

「店舗エリア予選 出場権利」を保持しているプレイヤーが優勝した場合、記念品のみ獲得でき「店舗エリア予選 出場権利」は 2 位のプレイヤーへ繰り下がります。

※「JAPAN FINALS 出場権利」を保持していて、その Season の「店舗エリア予選 出場権利」を保持していないプレイヤーが優勝した場合、「店舗エリア予選 出場権利」の繰り下げは発生しません。

店舗エリア予選：出場できます。

権利保持者が優勝した場合、記念品のみ獲得でき、権利は 2 位のプレイヤーへ繰り下がります。

EXPO 予選 1on1：出場できます。

権利保持者がさらに権利を獲得した場合、記念品のみ獲得でき、権利は「権利保持者に、権利が獲得できる試合で敗北したプレイヤー」に繰り下がります。

EXPO 予選 3on3：チームの 3 名全員が権利保持者の場合、出場できません。

チームの権利保持者が 2 名以下の場合、出場できます。

そのチームが権利を獲得できる順位に入賞した場合、チーム内の権利を持っていないプレイヤーが権利を獲得します。

※チーム単位での権利の繰り下げは発生しません。

※EXPO 予選において、「JAPAN FINALS 出場権利」を持っているプレイヤーが「JAPAN FINALS 招待出場権利」を獲得した場合、権利は更新されます。

◆イベントルール

※大会は最新バージョンのオフィシャルルールで行われます。必ずご確認をお願いします。

- ・対戦の終了および勝敗については、大会ごとに定められたレギュレーションに従い、決定されます。
- ・対戦結果を報告もしくは、ジャッジまたはスタッフが対戦結果を確認した後では、対戦結果について覆すことはできません。
- ・対戦開始時に指定の席に居ない場合は敗北となります。
- ・不正が発覚した場合、ただちにゲームに敗北します。
- ・ゲーム進行後に、不正行為を除くルールの誤用が発覚しても結果は覆りません。
- ・不正行為、マナー違反など、大会の運営に支障をきたす行為が発覚した場合、主催者もしくはジャッジの判断により失格、あるいは会場から退場をしていただくことがあります。予めご了承ください。
- ・疑問が発生した場合、ただちにゲームを中断し、ジャッジまたはスタッフを呼びその判定に従ってください。ゲーム進行後では正しい裁定ができませんのでご注意ください。

※ジャッジまたはスタッフの裁定は大会当日において有効ですが、その後オフィシャルルール等で裁定の変更がある場合がありますのでご注意ください。本イベント中はジャッジまたはスタッフの判断がすべてにおいて優先されます。

◆不正行為による対戦結果の操作について

- ・プレイヤーはどのような大会であっても、対戦相手と相談して試合結果を決定する、もしくは改ざんする行為をしてはいけません。

・対戦結果を不正に操作した場合、厳しいペナルティが科せられる対象になります。

◆マナー

・大会中の飲食、飲酒、喫煙は禁止します。

・紛失、盗難にご注意ください。万が一、紛失、盗難があった場合、一切の責任は負いかねますのでご注意ください。

・気分が悪くなったときは、すぐにスタッフを呼んでください。

※いかなる理由があろうと対戦中に離席をしたときは敗北となります。

・対戦中に電子機器は使用できません。

携帯電話は、電源を OFF にするかマナーモードにしてください。

※対戦中に携帯電話を使用したり、電話に出た場合、失格になる場合があります。

・対戦中は不正の疑いをもたれないように、「構築デッキ」「リソースデッキ」「トークンカード」「プレイマット」「ガンダムアッセンブル」以外の対戦中に使用しないものはしまってください。対戦を補助するサポートアイテムとして、以下の物が使用できます。

ダイス(正二十面体以下のもの)

腕時計

※電子機器として使用できるスマートウォッチ等は使用できません。

・シャッフルする前や対戦の合間などに、自分のデッキのカードの順番を操作していた場合、警告の対象になります。

・対戦中、自分の手札は常にテーブルの上にあるようにしてください。

・相手に公開されているカードやトラッシュにあるカードの効果を聞かれた場合は必ず正しい情報を伝えて下さい。

・相手にデッキやトラッシュ、シールドエリア、手札など公開情報の枚数を聞かれたときは必ず正しい枚数を伝えて下さい。

◆ペナルティについて

・「ガンダムカードゲーム 総合ルール」や「BANDAI CARD GAMES 基本フロアルール」、大会ごとのレギュレーションに書かれていることが守られなかった場合、《ジャッジまたはスタッフ》の権限により、ペナルティが科せられる場合があります。

・ペナルティは、イベントや大会のレベル、またルール違反の程度や状況から《ジャッジまたはスタッフ》が判断し、科せられます。

・また、ペナルティが科せられた後もルール違反が繰り返し行われた場合は、より厳しいペナルティが科せられる場合があります。

【ペナルティの種類と適用の原則】

① 【注意】

イベントの間プレイヤーごとに記録されるペナルティである。

「ゲームルール上誤った行為」に対し、《ジャッジまたはスタッフ》はできる限り正しい状態に戻すが、完全に元の状態に戻すのが難しい誤りの場合に与えられる。何度も【注意】を受けた場合、【警告】に格上げされることがある。

② 【警告】

イベントの間プレイヤーごとに記録されるペナルティである。

重大なものではない違反に対して与えられる。何度も【警告】を受けた場合、【敗北】や【失格】に格上げされることがある。

③ 【敗北】

悪質な違反の場合や、違反行為によって対戦の続行が不可能になった場合に対して与えられるペナルティである。

【敗北】が与えられた場合、そのゲームは即座に終了する。

【敗北】を与えることができるのは《大会主催者》と《主催者から【敗北】を与えることが許可されたジャッジ》のみ

である。

④【失格】

非常に悪質な違反や、イベント全体に損害を与えるような行為、重大な非紳士的行為に対して与えられるペナルティである。

プレイヤーに【失格】が与えられた場合、そのプレイヤーは現在の対戦に敗北し、以後の対戦にも参加できなくなり、それまでの成績に対する賞品を受け取ることはできない。

【失格】は観客に対して与えられることもあり、その場合は会場から退出しなければならない。